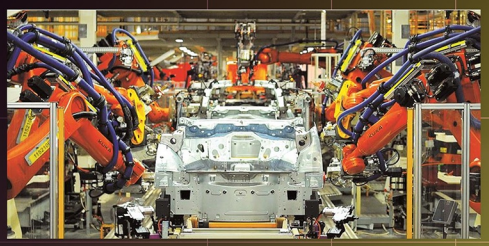
霧島市
よんたもんせニュース
-2025年4・5月号-

霧島市国際交流員（CIR）及び
外国語指導助手（ALT）による情報誌

✨「交流都市・嘉定区」から見るもう一つの顔

私の故郷・上海には「嘉定区」という区があり、霧島市と友好交流都市関係にあります。この嘉定区、実は中国の自動車産業の中心地でもあり、「上海国際自動車都市」と呼ばれる大規模な自動車関連都市がここに広がっています。2001年に計画が始まって以来、中心エリアは68平方キロメートルから98平方キロメートルに拡張され、電気自動車や自動運転車をはじめとする最先端の自動車関連企業が340社以上集積しています。



写真のように、上海汽車グループとフォルクスワーゲンの合弁工場（嘉定工場）では、産業用ロボットが高速ラインで車のボディを組み立てています。

Credit: Three decades of auto, service and agriculture expansion by Ye.Fengting

これは、嘉定自動車都市の近代的な生産の様子をよく表しています。この工場は2020年に稼働を始め、たった60秒で1台の電気自動車を完成させることができます。敷地内には「上海汽車博物館」や「自動車博覧公園」、F1レースも開催される「上海インターナショナルサーキット」、そして「同済大学嘉定キャンパス」など、まさに「車輪の未来都市」ともいえるインフラが整っています。

✨キャッシュレス生活と顔認証社会

車だけでなく、
日常生活にもテクノロジーがどんどん浸透しています。
今の中国では、現金を使う人はほとんどいません。
コンビニや屋台、公園の入場料からバス・地下鉄まで、すべてスマホで決済が可能です。
私自身、過去10年間ほとんど現金を使わず、スマホ1台だけで生活しています。お財布さえ持ち歩かなくなりました。
さらに最近では、スマホすら不要な「手ぶら決済」も増えてきています。
AIと生体認証技術の発展により、顔認証や掌静脈（手のひらの血管）認証が実用化されています。

Credit: Getty Images

例えば、
北京の地下鉄駅では、
手のひらをかざす
だけで改札を
通過できます。

👉L0：完全に人が運転
👉L1〜L2：運転支援
（例：車線維持、緊急ブレーキ）
👉L3：特定条件下での自動運転
（ドライバーは要監視）
👉L4：限定された環境下では
完全自動運転が可能
👉L5：すべての環境で
人間不要の完全自動運転

✨国際交流員　林　佳弥

皆さん、こんにちは。
この春から霧島市の国際交流員として着任しました、
林 佳弥（リン　カミ）と申します。
鹿児島とほぼ同じ緯度にある、
中国南部の都市・上海の出身です。
そのため、霧島市に来たときから、
どこか懐かしさや
親しみを感じています。
心地よい
風が吹き抜け、
新緑が美しい5月
――皆さんいかが
お過ごしでしょうか。

✨4月・5月の上海

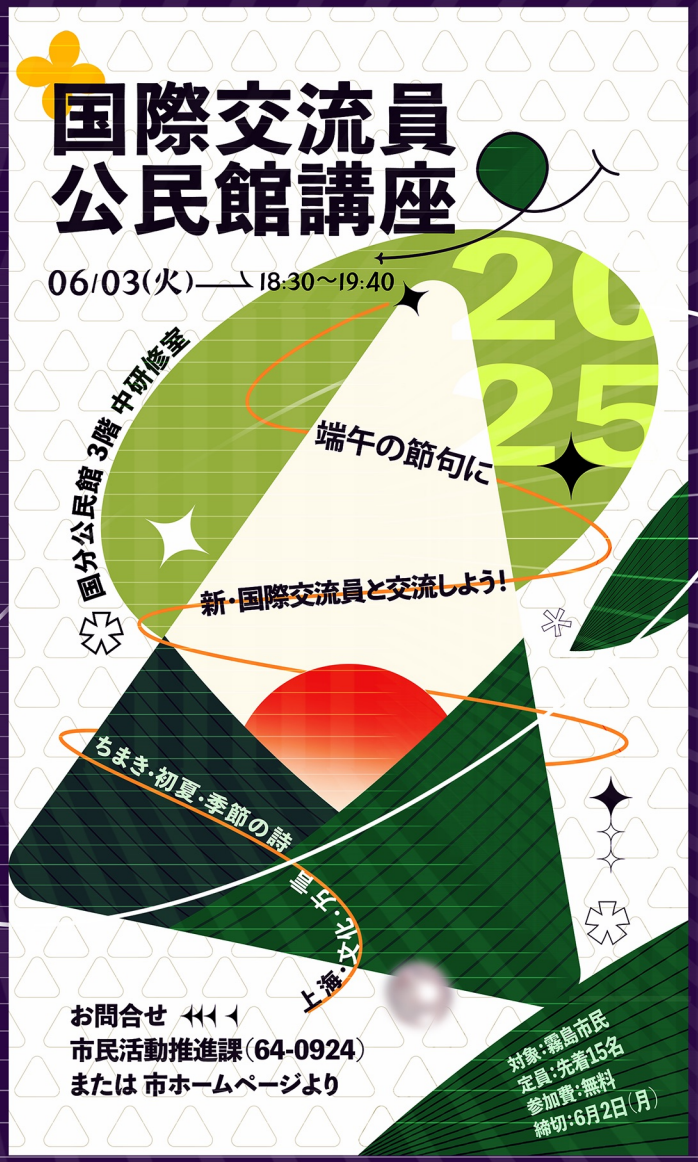
4月23日から5月2日まで、
上海国家会展中心で開催された
「2025年上海国際自動車工業展覧会」には、
26の国と地域から約1000の企業が出展し、
総展示面積は36万平方メートルを超えました。
会期中には100以上の新型車が世界初公開され、
来場者数はのべ101万人を突破しました。
BYD（比亜迪）やNIO（蔚来）などの
中国EVメーカーが、
ベンツ・BMW・トヨタといった国際ブランドと
肩を並べ、自動運転や超高速充電
といった最先端技術を披露していました。

私は以前、自動運転技術を開発する会社で
働いていたことがあるので、
この分野の豆知識を少しご紹介したいと思います。
自動運転とは、
カメラ・レーダー・レーザーなど
のセンサーとAI技術を使って、ほとんど人の
操作なしに自動で走行する車のことです。
国際的にはL0〜L5まで6つのレベル
に分かれています。

実際に今の上海や北京では「無人タクシー」を呼べる時代が始まっています。運転席に誰もおらず、自分一人だけで乗るタクシーは、まるでSF映画の中に入り込んだような感覚です。一部の都市では「無人バス」も実証運行が始まっており、未来のライフスタイルがすぐそこに迫っていると感じます。もちろん、この便利さの裏で、個人情報の保護などが重要な課題として議論されています。
それでも、こうした挑戦と実践の積み重ねこそが、中国テクノロジーの進化を支えているのだと実感します。

✨講座予告：「香るチマキ」で楽しむ端午の節句

テクノロジーに囲まれた現代だからこそ、私たちは伝統文化の温かさを大切にしたいと考えています。
旧暦の5月5日は中国の伝統行事「端午節」です。
日本と同じ名称ですが、中国では旧暦で祝うため、毎年日付が変わります（今年は5月31日）。それに合わせて、6月3日（火）に私の第1回中国文化講座を開催いたします！
内容は以下の通りです：
・甘いチマキ vs しょっぱいチマキ：南北の味比べ
・言葉で旅する：中国語＆上海語のミニレッスン
・香りを包む：よもぎの香り袋作り体験
好奇心を持って、ぜひお気軽にご参加ください。
チマキを食べて、香り袋を作り、方言を学び、物語を聞く

——そんな体験を通して、
日中文化の交流を一緒に楽しみましょう！

発　行：霧島市役所　市民活動推進課
市民環境政策・国際交流グループ
連絡先：64-0924